

（ 参 考 ）

## 平成26年3月期 第3四半期連結決算概要

平成26年2月6日  
三井化学株式会社  
(単位：億円)

## 1. 損益状況

	平成25年3月期 第3四半期	平成26年3月期 第3四半期	増 減	平成25年 3月期実績	平成26年3月期業績予想 (2/6発表値)	
					通 期	増 減
売 上 高	10,074	11,088	1,014	14,062	15,700	1,638
営 業 利 益	25	151	126	43	250	207
経 常 利 益	14	141	127	92	210	118
当 期 純 利 益	△ 97	△ 185	△ 88	△ 81	△ 230	△ 149
為 替 レ ー ト 円/US\$	80	99	19	83	100	17
国 産 ナ フ サ 価 格 円/KL	55,400	65,700	10,300	57,500	67,300	9,800

2. セグメント別 売上高・営業利益  
・売上高

(単位：億円)

	平成25年3月期 第3四半期	平成26年3月期 第3四半期	増 減			平成25年 3月期実績	平成26年3月期業績予想 (2/6発表値)	
			計	数量差	価格差		通 期	増 減
機 能 化 学 品	1,050	1,274	224	166	58	1,496	1,900	404
機 能 樹 脂	988	1,209	221	87	134	1,347	1,760	413
ウ レ タ ン	1,060	1,183	123	45	78	1,462	1,700	238
基 礎 化 学 品	2,788	2,872	84	△ 404	488	4,017	3,450	△ 567
石 化	3,384	3,769	385	△ 100	485	4,690	5,740	1,050
フ ィ ル ム ・ シ ー ト	569	600	31	18	13	748	850	102
そ の 他	235	181	△ 54	△ 54	-	302	300	△ 2
合 計	10,074	11,088	1,014	△ 242	1,256	14,062	15,700	1,638

## ・営業利益

(単位：億円)

	平成25年3月期 第3四半期	平成26年3月期 第3四半期	増 減				平成25年 3月期実績	平成26年3月期業績予想 (2/6発表値)	
			計	数量差	交易条件	固定費他		通 期	増 減
機 能 化 学 品	95	121	26	18	11	△ 3	124	165	41
機 能 樹 脂	66	93	27	33	11	△ 17	84	130	46
ウ レ タ ン	△ 18	△ 48	△ 30	2	△ 25	△ 7	△ 26	△ 40	△ 14
基 礎 化 学 品	△ 126	△ 139	△ 13	△ 14	△ 1	2	△ 189	△ 185	4
石 化	43	154	111	16	94	1	77	230	153
フ ィ ル ム ・ シ ー ト	△ 22	12	34	13	2	19	△ 33	5	38
そ の 他	△ 2	△ 5	△ 3	-	-	△ 3	△ 6	0	6
全 社 費 用 等	△ 11	△ 37	△ 26	-	-	△ 26	12	△ 55	△ 67
合 計	25	151	126	68	92	△ 34	43	250	207

第1四半期連結会計期間より、機能製品群への事業ポートフォリオの変革に向けて、事業セグメントの順序を変更しております。

## 3. 特別損益主要内訳

(単位：億円)

	平成25年3月期 第3四半期	平成26年3月期 第3四半期	増 減	平成25年 3月期実績	平成26年3月期業績予想 (2/6発表値)	
					通 期	増 減
資 産 売 却 益	17	0	△ 17	17	0	△ 17
環 境 対 策 引 当 金 戻 入 額	-	-	-	33	-	△ 33
固 定 資 産 処 分 ・ 売 却 損	△ 27	△ 14	13	△ 45	△ 20	25
減 損 損 失	△ 17	-	17	△ 56	-	56
関 連 事 業 損 失	△ 10	-	10	△ 41	-	41
投 資 有 価 証 券 評 価 損	△ 8	-	8	△ 8	-	8
受 取 保 険 金	46	7	△ 39	55	7	△ 48
爆 発 火 災 事 故 に 係 る 損 失	△ 48	-	48	△ 49	-	49
事 業 構 造 改 善 費 用	-	△ 222	△ 222	-	△ 320	△ 320
そ の 他	△ 6	-	6	△ 6	13	19
合 計	△ 53	△ 229	△ 176	△ 100	△ 320	△ 220

当期の事業構造改善費用は、事業構造改善に係る全ての特別損失について、表示しております。

4. 貸借対照表

(単位：億円)

	資産の部				負債及び純資産の部		
	H25/3末	H25/12末	増 減		H25/3末	H25/12末	増 減
流動資産	7,154	7,562	408	有利子負債	5,072	5,933	861
有形固定資産	4,466	4,289	△ 177	その他負債	4,019	4,355	336
無形固定資産	146	721	575	自己資本	3,768	3,754	△ 14
投資等	1,614	1,877	263	少数株主持分	521	407	△ 114
資産計	13,380	14,449	1,069	負債純資産計	13,380	14,449	1,069

(D/Eレオ) (1.35) (1.58) (0.23)

5. キャッシュ・フロー

(単位：億円)

	平成25年3月期 第3四半期	平成26年3月期 第3四半期	増 減	平成25年 3月期実績	平成26年3月期 業績予想 (2/6発表値)	増 減
	営業キャッシュ・フロー	88	272	184	185	390
投資キャッシュ・フロー	△ 412	△ 994	△ 582	△ 581	△ 1,140	△ 559
(フリーキャッシュ・フロー)	(△ 324)	(△ 722)	(△ 398)	(△ 396)	(△ 750)	(△ 354)
財務キャッシュ・フロー	125	815	690	273	850	577
その他	3	33	30	27	0	△ 27
現預金等増減	△ 196	126	322	△ 96	100	196
現預金等残高	350	576	226	450	550	100

6. 当期のトピックス

- ・ Heraeus Kulzer Dental事業 : Heraeus Holding GmbH(ドイツ)の歯科材料事業を譲受(平成25年6月)
- ・ DENTCA社(米国) : CAD/CAMシステムを用いた入れ歯(デンチャー)の開発・製造・販売会社の株式を増資引受により取得  
(平成25年6月)
- ・ 台塑三井精密化学有限公司(中国) : 電解液の製造・販売・研究会社 設立(平成25年9月)
- ・ Vithal Castor Polyols PVT.LTD.(インド) : ウレタンポリオール(ウレタンポリオール)の製造・販売会社 設立(平成25年10月)



## 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月6日

上場会社名 三井化学株式会社

上場取引所 東

コード番号 4183 URL <http://ip.mitsuiichem.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 稔一

問合せ先責任者 (役職名) IR・広報部長 (氏名) 小澤 敏

TEL 03-6253-2100

四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満四捨五入)

### 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	1,108,752	10.1	15,129	512.8	14,060	879.8	△18,453	—
25年3月期第3四半期	1,007,376	△8.4	2,469	△91.0	1,435	△95.0	△9,707	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 8,149百万円 (—%) 25年3月期第3四半期 △6,162百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	△18.43	—
25年3月期第3四半期	△9.69	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	1,444,883	416,115	26.0	374.90
25年3月期	1,337,995	428,914	28.2	376.18

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 375,396百万円 25年3月期 376,779百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
26年3月期	—	3.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	—	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,570,000	11.6	25,000	482.8	21,000	128.1	△23,000	—	△22.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 一社 (社名) 、 除外 1社 (社名) SIAM MITSUI PTA CO.,LTD.
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注)詳細は、【添付資料】5ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項(1)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	1,022,020,076 株	25年3月期	1,022,020,076 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	20,709,975 株	25年3月期	20,419,265 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	1,001,513,491 株	25年3月期3Q	1,001,741,390 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載の業績予想等は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。従いまして、実際の業績等は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提条件その他関連する事項については、【添付資料】4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

当社は、以下のとおり経営概況説明会を開催する予定です。説明会の様子を説明資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。  
・平成26年2月6日(木)……経営概況説明会

## 【添付資料の目次】

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
①通期業績予想の修正とその理由について	
②配当予想の修正とその理由について	
2. サマリー情報（その他）に関する事項	5
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) セグメント情報	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
(6) 連結の範囲の変更	12
(7) 企業結合等関係	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

#### (全般的状況)

当第3四半期連結累計期間(平成25年4月1日～平成25年12月31日の9ヶ月間。以下、「当四半期」といいます。)における事業環境は、中国や新興国の景気拡大のテンポが依然として緩やかに推移しました。一方、日本国内においては、堅調な内需や、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要等により景気は緩やかに回復しつつあるものの、輸出の回復の鈍化や個人の景況感の悪化など、回復に力強さが感じられない状況が継続しております。

このような情勢のもとで、当社グループの当四半期の業績は以下のとおりとなりました。

(単位：億円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
当四半期	11,088	151	141	△185
前年同四半期	10,074	25	14	△97
増減額	1,014	126	127	△88
増減率(%)	10.1	512.8	879.8	—

**売上高**は、前年同四半期に比べ1,014億円増(10.1%増)の1兆1,088億円となりました。これは主に基礎化学品事業、石化事業において、販売数量減少の影響が242億円あったものの、全般的に、ナフサなどの原燃料価格上昇や円安効果による販売価格上昇の影響が1,256億円あったことなどによるものです。

**営業利益**は、前年同四半期に比べ126億円増(512.8%増)の151億円となりました。これは、主に石化事業の取引条件が改善したことや、機能化学品事業及び機能樹脂事業の販売数量が増加したことなどによるものです。

**経常利益**は、前年同四半期に比べ127億円増(879.8%増)の141億円となりました。これは、主に営業利益が増加したことなどによるものです。

**特別損益**は、前年同四半期に比べ176億円悪化の229億円の損失となりました。これは、平成26年2月6日発表の「事業再構築による特別損失の計上、業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」のとおり、大型市況製品である、ポリウレタン材料事業及びフェノール事業における事業再構築費用を206億円計上したことなどによるものです。

以上により、**税金等調整前四半期純損失**は、前年同四半期に比べ49億円増の88億円となりました。

**四半期純損失**は、法人税等及び少数株主利益を控除した結果、前年同四半期に比べ88億円増の185億円となり、1株当たり四半期純損失額は18.43円となりました。

当四半期のセグメント別の状況は、次のとおりです。

#### (機能化学品)

当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ224億円増の1,274億円、売上高全体に占める割合は11%となりました。また、営業利益は、農薬の輸出販売拡大等により前年同四半期に比べ26億円増の121億円となりました。以上により、セグメント全体では、増収・増益となりました。

ヘルスケア材料の**メガネレンズ用材料**、衛生材料の**不織布**、**農薬**等が、海外の需要拡大等を受けて販売を拡大し、好調に推移しました。**触媒**についても、昨年発生した岩国大竹工場事故による生産停止の影響から脱したことにより、販売が拡大しております。

なお、6月30日付で譲受したHeraeus Kulzer Dental事業は、当四半期より業績を計上していません。

### (機能樹脂)

当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ 221 億円増の 1,209 億円、売上高全体に占める割合は 11%となりました。また、営業利益は、需要拡大への的確な対応及び円安効果等により、前年同四半期に比べ 27 億円増の 93 億円となりました。以上により、セグメント全体では増収・増益となりました。

自動車部品及び樹脂改質材用途を中心とする**エラストマー**や**機能性コンパウンド**製品が、円安効果及び北米を中心とする自動車用途の需要拡大に的確に対応したことにより収益を拡大しました。また、**特殊ポリオレフィン**についても、岩国大竹工場事故の影響からの回復、スマートフォン向け販売の拡大及び円安効果により、収益を拡大しました。

### (ウレタン)

当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ 123 億円増の 1,183 億円、売上高全体に占める割合は 11%となりました。一方、営業損失は、原燃料価格上昇及びポリウレタン材料の海外市況下落の影響を受け、前年同四半期に比べ 30 億円増の 48 億円となりました。以上により、セグメント全体では増収・減益となりました。

接着材料は、海外での**包装用接着剤**の堅調な需要拡大及び**有機 EL 用接着剤**の新規販売開始により収益を拡大しております。一方で、**ポリウレタン材料**は、主要用途である家具向けの低調、依然として低迷する中国市況、原燃料価格の上昇により、厳しい状況が続いております。

### (基礎化学品)

当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ 84 億円増の 2,872 億円となり、売上高全体に占める割合は 26%となりました。一方、営業損失は、コスト削減努力等はありませんでしたが、特にフェノール、高純度テレフタル酸の取引条件が引き続き厳しい状況であり、前年同四半期に比べ 13 億円増の 139 億円となりました。以上により、セグメント全体では、増収・減益となりました。

全般的に原燃料価格の上昇による販売価格の上昇を受け、売上高は増加しておりますが、**フェノール**、**高純度テレフタル酸**等が、依然として需要の回復遅れ及び中国市況の低迷を背景に厳しい状況が続いております。

### (石化)

当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ 385 億円増の 3,769 億円となり、売上高全体に占める割合は 34%となりました。また、営業利益は、売上増、交易条件の改善、ナフサ価格上昇に伴う在庫評価益などにより、前年同四半期に比べ 111 億円増の 154 億円となりました。以上により、セグメント全体では、増収・増益となりました。

ナフサクラッカーが当初予想の稼働率を上回って稼働したほか、北米の自動車生産台数の増加等により、海外事業の収益が拡大しております。

### (フィルム・シート)

当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ 31 億円増の 600 億円となり、売上高全体に占める割合は 5%となりました。また、営業損益は、高付加価値製品の拡販、円安効果及びコスト削減努力により、前年同四半期に比べ 34 億円改善の 12 億円の利益となりました。以上により、セグメント全体では増収・増益となりました。

**包装フィルム**は、今年度初めに実施した販売価格の改定により収益が改善しております。

**電子・光学用フィルム**は、スマートフォンを始めとした高付加価値分野における需要拡大及び円安効果により収益を拡大しております。

**太陽電池用シート**は、国内市場が伸長したこと、また新製品の拡販及びコスト削減努力により収益が改善しております。

## (その他)

当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ54億円減の181億円となり、売上高全体に占める割合は2%となりました。また営業損失は、前年同四半期に比べ3億円増の5億円となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### (資産、負債、純資産の状況)

当四半期末の**総資産**は、前期末に比べ1,069億円増の1兆4,449億円となりました。

当四半期末の**負債**は、前期末に比べ1,197億円増の1兆288億円となりました。また、有利子負債は861億円増の5,933億円となりました。この結果、総資産に対する有利子負債の比率は前期末に比べ3.2ポイント増の41.1%となりました。

当四半期末の**純資産**は、前期末に比べ128億円減の4,161億円となり、**自己資本比率**は前期末に比べ2.2ポイント減の26.0%となりました。

以上により、当四半期末の**有利子負債／自己資本比率 (D/Eレシオ)**は、前期末に比べ0.23ポイント増の1.58となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

#### ① 通期業績予想の修正とその理由について

平成25年11月1日に公表いたしました連結通期業績予想につきましては、平成26年2月6日発表の「事業再構築による特別損失の計上、業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」にて、以下のとおり修正を行っております。

業績予想の修正にあたっては、為替レートは通期100円/\$ (1～3月103円/\$)、国産ナフサ価格は通期67,300円/KL (1～3月72,000円/KL)を前提にしています。

通期の業績予想につきましては、第3四半期に計上した事業再構築による特別損失に加え、検討を行っております追加の事業再構築の影響を事業構造改善費用として織り込んだ結果、当期純利益は前回発表予想数値から、減少する見込みとなりました。

(単位：億円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想(A)	15,500	250	210	10	1.00
今回修正予想(B)	15,700	250	210	△230	△22.97
増減額(B-A)	200	—	—	△240	
増減率(%)	1.3	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成25年3月期)	14,062	43	92	△81	△8.14

## (セグメント別の見通し)

セグメント別の見通しは、以下のとおりであります。

(単位：億円)

	売上高								合計
	機能 化学品	機能 樹脂	ウレ タン	基礎 化学品	石化	フィルム・ シート	その他	全社 費用等	
前回発表 予想	1,900	1,760	1,720	3,710	5,370	770	270	—	15,500
今回修正 予想	1,900	1,760	1,700	3,450	5,740	850	300	—	15,700
増減額	—	—	△20	△260	370	80	30	—	200



(単位：億円)

	営業利益								
	機能 化学品	機能 樹脂	ウレ タン	基礎 化学品	石化	フィルム・ シート	その他	全社 費用等	合 計
前回発表 予想	165	130	△20	△160	195	△5	0	△55	250
今回修正 予想	165	130	△40	△185	230	5	0	△55	250
増減額	—	—	△20	△ 25	35	10	—	—	—

## ②配当予想の修正とその理由について

平成 25 年 11 月 1 日に公表いたしました平成 26 年 3 月期の期末配当につきましては、未定としておりましたが、通期で事業構造改善費用を計上し、多額の純損失を計上する見込みとなりましたため、誠に遺憾ながら実施を見送らせて頂きます。これにより年間の配当予想は、1 株につき 3 円となります。

	年 間 配 当 金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前 回 発 表 予 想	—	—	—	未定	未定
今 回 修 正 予 想	—	—	—	0.00	3.00
当 期 実 績	—	3.00	—		
(ご参考)前 期 実 績 (平成 25 年 3 月期)	—	3.00	—	3.00	6.00

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

### (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 税金費用の計算

税金費用については、当第 3 四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	46,514	58,937
受取手形及び売掛金	298,411	303,879
たな卸資産	284,643	294,529
繰延税金資産	11,264	11,325
未収入金	66,108	79,047
その他	9,035	9,265
貸倒引当金	△579	△759
流動資産合計	715,396	756,223
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	318,872	325,331
減価償却累計額	△212,415	△219,848
建物及び構築物 (純額)	106,457	105,483
機械装置及び運搬具	1,064,514	1,007,879
減価償却累計額	△920,466	△884,830
機械装置及び運搬具 (純額)	144,048	123,049
土地	164,190	162,620
建設仮勘定	22,888	28,052
その他	64,600	69,573
減価償却累計額	△55,546	△59,906
その他 (純額)	9,054	9,667
有形固定資産合計	446,637	428,871
無形固定資産		
のれん	3,935	36,595
その他	10,700	35,484
無形固定資産合計	14,635	72,079
投資その他の資産		
投資有価証券	98,269	123,239
繰延税金資産	4,129	3,758
その他	59,791	61,641
貸倒引当金	△862	△928
投資その他の資産合計	161,327	187,710
固定資産合計	622,599	688,660
資産合計	1,337,995	1,444,883

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	215,666	213,732
短期借入金	106,685	165,400
1年内返済予定の長期借入金	54,011	61,176
コマーシャル・ペーパー	15,000	25,000
1年内償還予定の社債	10,000	13,000
未払法人税等	2,963	3,889
役員賞与引当金	23	47
修繕引当金	10,232	10,366
その他	79,328	84,498
流動負債合計	493,908	577,108
固定負債		
社債	97,000	99,000
長期借入金	223,956	229,204
繰延税金負債	16,963	26,955
退職給付引当金	50,855	55,239
役員退職慰労引当金	261	227
修繕引当金	3,579	1,557
環境対策引当金	3,028	2,360
事業構造改善引当金	—	18,413
資産除去債務	2,589	3,293
その他	16,942	15,412
固定負債合計	415,173	451,660
負債合計	909,081	1,028,768
純資産の部		
株主資本		
資本金	125,053	125,053
資本剰余金	91,065	91,065
利益剰余金	180,451	155,976
自己株式	△14,264	△14,325
株主資本合計	382,305	357,769
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,862	19,896
繰延ヘッジ損益	△250	△44
為替換算調整勘定	△18,138	△2,213
在外子会社の退職給付債務等調整額	—	△12
その他の包括利益累計額合計	△5,526	17,627
少数株主持分	52,135	40,719
純資産合計	428,914	416,115
負債純資産合計	1,337,995	1,444,883

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	1,007,376	1,108,752
売上原価	882,038	961,375
売上総利益	125,338	147,377
販売費及び一般管理費	122,869	132,248
営業利益	2,469	15,129
営業外収益		
受取利息	160	192
受取配当金	1,941	2,131
持分法による投資利益	1,687	1,150
為替差益	738	715
その他	2,829	3,214
営業外収益合計	7,355	7,402
営業外費用		
支払利息	5,055	5,272
その他	3,334	3,199
営業外費用合計	8,389	8,471
経常利益	1,435	14,060
特別利益		
固定資産売却益	409	72
投資有価証券売却益	1,251	—
受取保険金	4,649	685
特別利益合計	6,309	757
特別損失		
固定資産処分損	2,519	1,351
固定資産売却損	189	17
減損損失	1,742	150
関連事業損失	990	23
投資有価証券評価損	794	—
事業撤退損	93	1,523
爆発火災事故に係る損失	4,841	—
契約解除金	480	—
事業構造改善費用	—	20,555
特別損失合計	11,648	23,619
税金等調整前四半期純損失(△)	△3,904	△8,802
法人税等	4,721	7,638
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△8,625	△16,440
少数株主利益	1,082	2,013
四半期純損失(△)	△9,707	△18,453

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△8,625	△16,440
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	466	7,215
繰延ヘッジ損益	99	170
為替換算調整勘定	1,837	13,316
在外子会社の退職給付債務等調整額	—	△12
持分法適用会社に対する持分相当額	61	3,900
その他の包括利益合計	2,463	24,589
四半期包括利益	△6,162	8,149
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△7,782	4,701
少数株主に係る四半期包括利益	1,620	3,448

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

第1四半期連結会計期間より、機能製品群への事業ポートフォリオの変革に向けて、事業セグメントの順序を変更しております。

この変更に伴い、前年同四半期連結累計期間の報告セグメントの順序を変更しております。

前第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							その他 (注)	合計
	機能 化学品	機能 樹脂	ウレ タン	基礎 化学品	石化	フィルム・ シート	計		
売上高									
外部顧客への売上高	104,995	98,834	105,999	278,776	338,364	56,850	983,818	23,558	1,007,376
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,030	12,264	3,418	20,710	98,589	1,404	140,415	41,324	181,739
計	109,025	111,098	109,417	299,486	436,953	58,254	1,124,233	64,882	1,189,115
セグメント利益又は セグメント損失(△)	9,454	6,596	△1,776	△12,624	4,277	△2,206	3,721	△178	3,543

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,721
「その他」の区分の損失(△)	△178
セグメント間取引消去等	102
全社費用(注)	△1,176
四半期連結損益計算書の営業利益	2,469

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属させることが適当でない一般管理費等であります。

当第3四半期連結累計期間（自平成25年4月1日至平成25年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント							その他 (注1)	合計
	機能 化学品 (注2)	機能 樹脂	ウレ タン	基礎 化学品	石化	フィルム・ シート	計		
売上高									
外部顧客への売上高	127,358	120,945	118,338	287,164	376,877	59,959	1,090,641	18,111	1,108,752
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,746	13,547	2,510	21,854	115,139	2,072	158,868	43,561	202,429
計	131,104	134,492	120,848	309,018	492,016	62,031	1,249,509	61,672	1,311,181
セグメント利益又は セグメント損失(△)	12,092	9,263	△4,826	△13,915	15,448	1,260	19,322	△508	18,814

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他関連事業等を含んでおります。

2. 当第3四半期連結累計期間において、平成25年6月30日付けで、Heraeus Kulzer Dental事業の譲受を完了したことに伴い、「機能化学品」セグメントの資産が84,376百万円増加しております。なお、資産の増加額は、入手可能な合理的な情報に基づき暫定的に算定した金額であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	19,322
「その他」の区分の損失(△)	△508
セグメント間取引消去等	△134
全社費用等(注)	△3,551
四半期連結損益計算書の営業利益	15,129

(注) 全社費用等は、主に報告セグメントに帰属させることが適当でない一般管理費及び新事業に係る研究開発費等であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(セグメント測定方法の一部変更)

平成25年度より、新事業・新製品開発テーマの創出と確実な事業化を図るため、研究開発体制を見直しております。それに伴い、新事業に係る研究開発費等については、従来、各報告セグメントに配賦しておりましたが、第1四半期連結会計期間より、全社費用等に計上することに変更いたしました。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、当第3四半期連結累計期間のセグメント利益は、「機能化学品」については91百万円、「機能樹脂」については464百万円、「石化」については620百万円、「フィルム・シート」については319百万円、それぞれ増加しております。また、セグメント損失は、「ウレタン」については364百万円、「基礎化学品」については459百万円、それぞれ減少しております。

一方、上記報告セグメントへの配賦費用の減少に伴い、全社費用等は2,317百万円増加しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

平成26年2月6日の取締役会において、大型市況製品の事業再構築策を決議したことに伴い、当第3四半期連結会計期間において、事業構造改善費用を計上しました。この特別損失には、「基礎化学品」セグメントにおいて3,324百万円、「ウレタン」セグメント等において941百万円の固定資産の減損損失を

含んでおります。

(のれんの金額の重要な変動)

「機能化学品」において、Heraeus Kulzer Dental 事業の譲受をしたことに伴い、のれんを計上したことにより、同セグメントののれんが前連結会計年度末に比べて、33,070 百万円増加しています。

なお、のれんの増加額は、入手可能な合理的な情報に基づき暫定的に算定した金額であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 連結の範囲の変更

平成 25 年 6 月に Heraeus Kulzer Dental 事業の譲受をしたことに伴い、当第 3 四半期連結会計期間末において、エムシーデンタルホールディングスインターナショナル合同会社、他 23 社を連結子会社の範囲に含めております。

(7) 企業結合等関係

取得による企業結合

① 取得原価の当初配分額に重要な修正がなされた場合の修正内容及び金額

第 1 四半期連結会計期間においては、Heraeus Kulzer Dental 事業の取得金額の価額調整及び取得原価の配分が完了しておらず、連結財務諸表作成時点における入手可能な合理的な情報に基づき暫定的な会計処理を行っておりました。

当第 3 四半期連結会計期間においても、暫定的な会計処理を行っておりますが、取得原価及び配分額の見直しによるのれんの修正がありました。その修正額は次のとおりであります。

修正科目	のれんの修正額
のれん (修正前)	48,071 百万円
取得金額の価額調整	△ 2,561 百万円
無形固定資産	△21,080 百万円
繰延税金負債	6,587 百万円
その他取得原価調整額	2,053 百万円
修正金額合計	△15,001 百万円
のれん (修正後)	33,070 百万円

② 償却の方法及び償却期間

無形固定資産	主として 20 年間にわたる均等償却
のれん	20 年間にわたる均等償却